

GINGA REPORT 401

No. 99
2023.8

そらんぼ四日市 検索

発行日：令和5年8月1日
編集&発行：四日市市立博物館・プラネタリウム
電話：059-355-2700

8月の星空

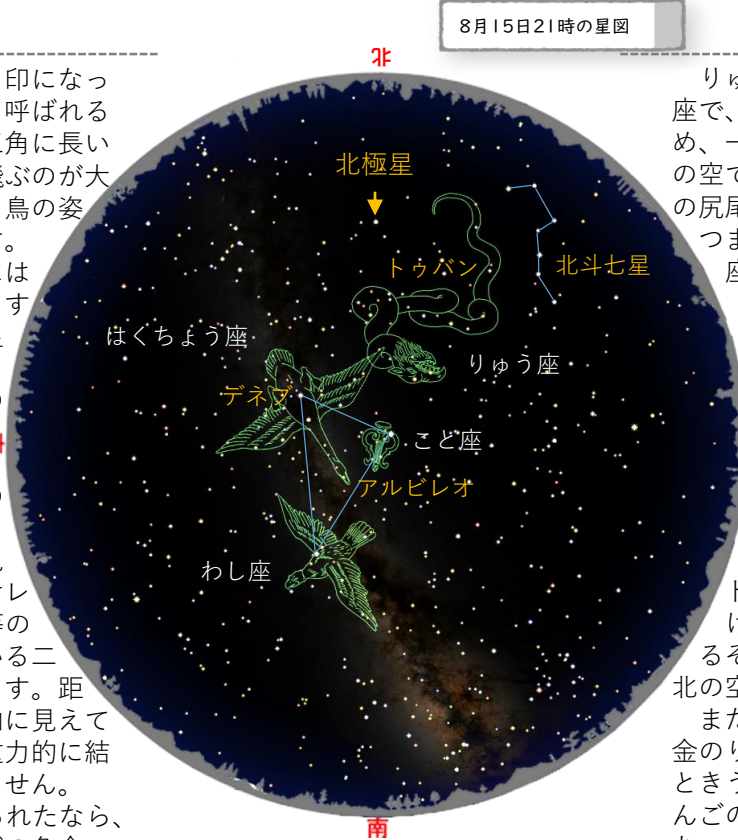
星図：ステラナビゲータ11/(株)アストローツ

天上の宝石アルビレオ

夏の夜空で星探しの良い目印になってくれるのが、夏の大きな三角と呼ばれる三角形です。そんな夏の大きな三角に長い首を突っ込み、翼を広げて飛ぶのが大神ゼウスが変身した優雅な白鳥の姿とされる、はくちょう座です。はくちょう座のお尻の辺りにはデネブという星が輝いていますが、デネブと呼ばれている星は他にもいくつかあります。しかし一等星のデネブはこのはくちょう座だけです。

また、はくちょう座のくちばしの辺りで輝いているのがアルビレオという星です。肉眼ではごく普通に輝いて見えますが、望遠鏡で見るとオレンジの3等の星にブルーの5等の星が寄りそうように輝いている二重星だと気づくことができます。距離の違う二つの星が同じ方向に見える見かけ上の二重星で、重力的に結びついている連星ではありません。

望遠鏡でアルビレオが見られたなら、天上の宝石に例えられるほどの色合いの美しさに心奪われるかもしれません。



8月15日21時の星図

黄金のリングを守る竜

りゅう座は全天で8番目に大きい星座で、北極星と北斗七星の間で輝くため、一年中地平線に沈むことなく、北の空で見えている星座です。りゅう座の尻尾のところにある星はトゥバン、つまり竜という意味があり、この星座を代表する名前です。

地球は自転軸を中心として、傾いたコマのように回転する、歳差運動という動きをしています。この歳差運動によって、自転軸の北極の先で輝く北極星は、26000年の周期で次々と交代していきます。紀元前2800年頃はこのトゥバンが北極星だったと言われ、ピラミッドの通路の方向は、トゥバンに向けたものではないかという説もあるそうです。りゅう座の代表らしく、北の空の中心で輝いていたんですね。

またギリシャ神話に出てくる竜は、金のリングを守っていましたが、あるときうっかり居眠りをしてしまい、リングの木を盗まれてしまったというちょっとお茶目な竜です。北の空を守る荘厳な竜からは想像できませんね。

今月の天文トピック

ペルセウス座流星群

ペルセウス座流星群は最も人気がある流星群の一つです。1時間に最大100個の流星を見ることができます。今年はペルセウス座流星群のピークが新月の2日前の明け方で、観測条件は良好です。

毎年ほぼ同じ時期に夜空のある一点から放射状に出現する流星の一群のことを流星群といいます。流星とは宇宙空間に漂っている塵や砂粒が地球の大気にぶつかり、大気や塵の成分が光を放つ現象です。流星群を地上から見ると流星が空のある一点から放射状に流れるように見えます。その点を放射点と呼んでいます。そしてその放射点がどの星座にあるかによって、その流星群の名前が決まります。

お天気が良ければ、8月13日には、たくさんの流星が見られるでしょう。



©国立天文台

博物館主催 スターウォッチング

博物館主催観望会

場所：伊坂ダムサイクルパーク管理事務所付近
◇8月13日(日) 20:00~21:30「ペルセウス座流星群観望会」
(きらら号は出勤しません)

博物館主催きらら号観望会





場所：博物館前市民公園
◇8月26日(土) 19:30~21:00「月と土星を見よう」



編集後記

夏の星で有名なデネブ、アルタイル、ベガなどが輝き、夏本番といったところですね。はくちょう座で輝くアルビレオは宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」にアルビレオの観測所として登場する有名な星です。土曜日限定の夜間特別番組「銀河鉄道の夜」にも登場します。9月2日までの放映ですので、ぜひ夏休み期間に博物館のプラネタリウムにご来館ください。

8月の月

- 8日  下弦
- 16日  新月
- 24日  上弦
- 31日  満月

※当日受付・参加無料です。
※天候不良時は中止です。(通常3時間前に決定します)